

既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	(倫理・先進・ ゲノム) 第 415 号
研究課題	皮膚腫瘍における遺伝子変異および遺伝子発現の検討
本研究の実施体制	研究責任者 熊本大学病院皮膚科 教授 尹浩信 研究分担者 熊本大学病院皮膚科 助教 青井淳 熊本大学病院皮膚科 助教 梶原一亨 熊本大学病院皮膚科 特任助教 牧野雄成 総合臨床研究部 特任助教 金丸央 熊本大学病院皮膚科 診療助手 澤村創一郎 熊本大学病院皮膚科 医員 田中憲一郎
本研究の目的及び意義	本研究の目的及び意義 近年、技術の進歩により様々な病気の遺伝子解析を短期間で効率よく行なうことができるようになり、癌遺伝子の異常が新たに多数発見されています。さらに血液中に漏れだしてくるごく微量の癌遺伝子を検出する検査法も開発されています。しかし、いまだ原因遺伝子が明らかになっていない皮膚の腫瘍は多数存在します。今回お願いする研究では、皮膚腫瘍の組織と血液を用いて遺伝子の量の変化や変異を調べて原因を見つけ出すことを目的としています。
研究の方法	研究の方法 腫瘍組織あるいは血液から遺伝子を取り出し、これまで知られている癌遺伝子の有無を調べます。
研究期間	研究期間 大学院生命科学研究部長（病院長）承認の日 から10年間
試料・情報の取得期間	試料・情報の取得期間 1998年4月1日から2019年11月30日までの期間中に、原因不明の皮膚腫瘍の組織検査あるいは手術を受けた患者様
研究に利用する試料・情報	研究に利用する試料・情報 この研究で利用させて頂くのは、検査や手術のために採取された、既存の腫瘍組織あるいは血液です。

個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者様を特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者様の個人情報が公表されることはありません。

研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

希望があれば他の研究対象者の個人情報や研究全体に支障となる事項以外は開示できます。研究成果は論文で公開しますが、患者様を特定できる個人情報は削除します。本研究に対する疑問や相談があった場合は下記問い合わせ先に申し出てください。

利益相反について

本研究は公的機関からの資金（科研費等）で行われ、利益相反はありません。

本研究参加へのお断りの申し出について

この研究の対象者となることを拒否される場合は、下記連絡先までご連絡ください。ご連絡いただいた場合はただちに研究の対象とすることを取りやめます。拒否により不利益が生じることはありません。

本研究に関する問い合わせ

熊本大学病院 西10階 (096-373-7062)

電子メール derma.prs.ku@gmail.com

熊本大学病院皮膚科 助教 梶原一亨